

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14 32	事業所内において、利用者様・協力機関・近隣の他事業所管理者様等に向け、様々な企画(終活について等)を運営推進会議を通じて、発信している。しかし、いきいき主催のケアマネ勉強会等を通じた居宅や他施設ケアマネとの交流・近隣病院MSWとの交流等、地域の他機関との協力体制は、まだまだ不十分と言える。	施設ケアマネも参加するいきいき主催のケアマネ勉強会に出席する機会を増やしたり、近隣病院MSWと交流する機会を日頃から意識したい。こうした機会を通じて、ケアパスの構築等、地域での認知症高齢者の受け皿の一扱い手として貢献できるように努めたい。	1回／1ヶ月のいきいき主催の勉強会に参加して他事業所ケアマネとの交流を深めることは勿論、1回／3ヶ月、近隣病院MSWの退院状況の確認や自事業所で退院援助できる情報伝達に努める。また、日頃から協力いただいている、近隣の認知症介護指導者との情報交換や認知症カフェへの参加を心がける。	12ヶ月
2	12	平日は5～6時間勤務のパート、週末は6時間学生アルバイトで勤務体制の整備はできている。しかし、学生が卒業したり、パートの加齢に伴い、今後、現在の勤務体制に変化が訪れた場合、現在の就業環境を維持し続けることが難しくならないように、平日の5～6時間勤務のパート確保や学生アルバイトのOB制確立を整えていく必要がある。	現在、平日勤務の学生、週末勤務の学生各2人ずつ、介護職員として、勤務に携わっている。週末勤務の学生は今年度末には卒業を向かえるため、今年中にOBを迎える、勤務の同行を行い、教育指導する体制を整えていくように努めたい。	現在協力いただいている看護・福祉の学校に対しての職業紹介や将来の職業選択や資格取得の礎となる、自事業所での職業経験について、実際、いま勤務している学生を通じては勿論、学校の進路担当の先生に対して、伝達・報告する機会を1回／半年設ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。